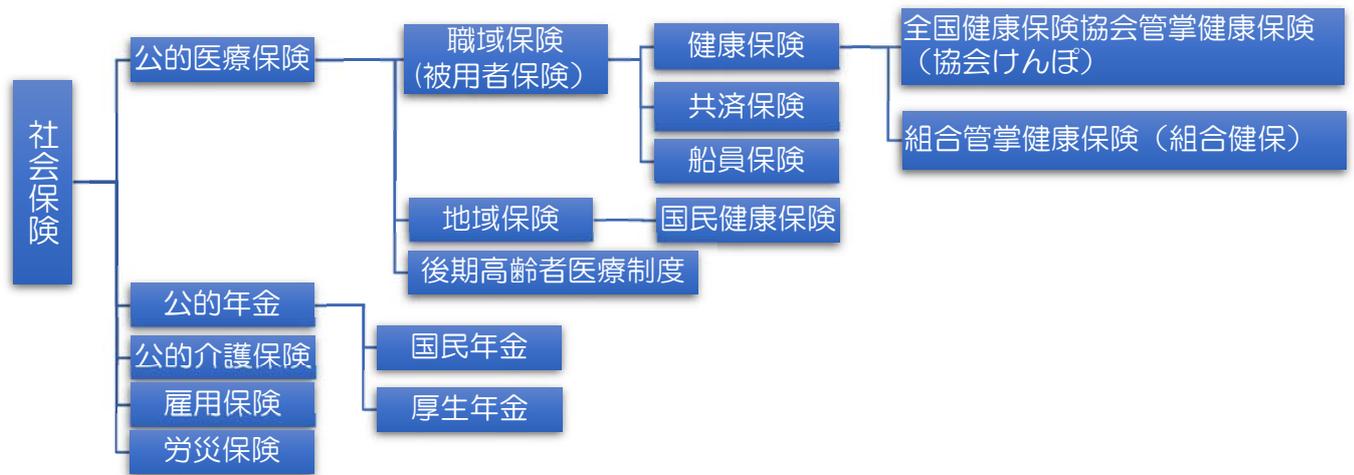


社会保険とは

さまざまな(傷病・労働災害・退職や失業)に備え、あらかじめ人々がお金(保険料)を出し合い、リスクに直面した人に対して、お金やサービスを支給する仕組みのことです。「保険」には、公的社会保険(法律や制度に基づいた保険)と個人加入する保険(民間企業が提供する保険)があります。

現在、日本の社会保険には、「医療保険(病気・けがをしたときの保険)」、「年金保険(老齢・障害・死亡のときの保険)」、「雇用保険(雇用を支援する保険)」、「労災保険(仕事上の病気、けがのときの保険)」、「介護保険(加齢に伴い介護が必要になったときの保険)」があります。



主な社会保険

- 健康保険とは…病気やケガなどで医療が必要になる時に備えるための保険制度で、会社などで入る職域保険のひとつです。自営業の方など会社に勤めていない方は、国民健康保険に加入します。
- 公的年金とは…公的年金制度は、「国民皆年金」という特徴を持っており、20歳以上の全ての人加入する国民年金と、会社員が加入する厚生年金などによる、「2階建て」の構造になっています。
- 雇用保険とは…労働者の生活及び雇用の安定と就職の促進のために、失業された方や教育訓練を受けられる方等に対して、失業等給付を支給する制度です。
- 労災保険とは…労働者の業務上の事由または通勤による労働者の傷病等に対して必要な保険給付を行い、あわせて被災労働者の社会復帰の促進等の事業を行う制度です。